

まちづくり意見交換会

1月25日に、日頃から地域と町行政とのパイプ役として、ご尽力いただいている自治会長と町議会議員が一堂に会し、住みよい松田町を作るために、第6回意見交換会を、町役場会議室で開催しました。

今回は、平成28年9月からスタートした「移動販売事業について」をテーマに、移動販売事業の現況、販売拠点である自治会の状況報告を交えて意見を交換しました。この意見交換会で出されました内容について、議会で整理をし「まちづくりに関する要望書」としてまとめ、本山町長に提出しましたので、その概要をお知らせします。



まちづくりに関する要望書(要旨)

- (1) 移動販売事業の利用を図るため、広報紙等により町民への周知を継続的に実施されたい。
- (2) 販売拠点や見守り先などで、利用者間のコミュニティーが図られているので、町の負担で販売日時 の掲示を行い利用者の増加に努めること。
- (3) 移動販売推進協議会と参加事業者3者との連携を深め、移動販売事業がより効果的に推進されるよう取り組むこと。
- (4) この事業を関係者全員で育て上げ、継続して長く続けられるよう推進されたい。
- (5) 売り上げ等のデータを整理・分析して、効率的な運営ができるよう指導育成されたい。

移動販売事業がスタートし5か月を経過しましたので、先ず、観光経済課長より全体の販売事業、福祉課長より見守り活動

についての現況を発表し、その後、次の2名の自治会長より各自作成した資料を配布し、地元での状況報告を発表しました。

移動販売事業が効果的に継続して続けられるよう活発な意見が出されました。

移動販売事業の自治会での状況発表



山岸 虫沢田代
自治会長

虫沢地区の販売拠点である長寿橋前倉庫での現状・課題・評判等の事例発表がされました。

いつも買い物に来られる方は10名程度で、販売員の方の対応も良く、好

評です。自治会でも「くるまつくん」のお知らせを独自に配布している報告がされました。

課題としては、試験的に拠点を増設できないか、拠点ごとの売り上げ集計ができないか、レシートに品名表示ができないか、販売拠点は道がカーブの所で危険、運用面の改善を図ればより良い制度になるのでは等があげられました。



内藤 茶屋
自治会長

茶屋地区の販売拠点である茶屋地域集会所・ハートフルケアホームまつだでの利用者やドライバーの声・課題等の事例発表がされました。

利用者の声は、予約しておく次回に持ってきてくれるので便利、重いものは移動販売で買って

いるなど。ドライバーの声として、20分の販売のため慌ててやっている、地域のコミュニケーションの場になっている等の報告がされました。

課題としては、耳の遠い方のために、「松田音頭」の音量を大きくできないか、到着時間が遅れる等があげられました。

防犯活動への取り組み



東城 店屋場
自治会長

地域からその他の報告として、店屋場自治会での防犯活動がプロジェクトを使用し報告がされました。平成20年頃に防犯防災福祉ボランティアを立ち上げ、登下校の見守り・夜間防犯パトロール・自治会での対策や情報共有・回覧発行等が発表されました。